

「古事記」の説話を読む —— 仲哀記・応神記を読む ——

クラス
コード

62A17

曜日時限 土曜10:55~12:25

受講料 22,000円

定員 45名

単位 2単位

概要 古代日本の説話が記されたテキストには、「古事記」、「日本書紀」、「風土記」などがありますが、本居宣長が「古事記伝」を記して以来、日本神話の正統的なテキストは「古事記」であるとされてきました。この講座では、原文などを参照しながら、「古事記」中巻の古代天皇に関する説話の解説などをしていきます。今年は景行天皇と仲哀天皇の物語を読みます。

講師 福沢 健

獨協大学講師 専門/上代文学
國學院大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得。学生時代から、上代文学、特に万葉集と古事記を中心に研究

テキスト 口語訳古事記——人代篇——（三浦佑之著/文春文庫）710円+税**内容** 5月11日~12月7日（全10回）

- ① 5月11日 住吉の神の神託
- ② 5月25日 新羅出兵
- ③ 6月1日 鎮懐石
- ④ 6月29日 カゴサカ・オシクマの乱
- ⑤ 7月6日 気比大神
- ⑥ 9月28日 三人の皇子
- ⑦ 10月12日 カミナガヒメ
- ⑧ 10月26日 大山守の反乱
- ⑨ 11月9日 天の日矛
- ⑩ 12月7日 秋山之下氷壮夫と春山之霞壮夫

